

日本原子力産業協会

2018年の誓い

2018年1月9日

日本原子力産業協会が「2018年原子力新年の集い」という会合を開きました。そもそも日本原子力産業協会とは。。。。

一般社団法人
日本原子力産業協会
Japan Atomic Industrial Forum

会員数：424社

(参考資料①)

Mission

私たちは、
原子力技術が有する平和利用の可能性が最大限に活用されるよう、
その開発利用の促進に努め、
将来世代にわたる社会の持続的な発展に貢献します。

Vision

原子力をもつ**価値の向上**
原子力をもたらす**恩恵の共有**
原子力に対する**信頼の確保**

Value

客観性 原子力事業当事者ではない第三者性を活かした立場から、
原子力と社会の諸問題について、
長期的かつ俯瞰視点に立った活動を行います。

多様性 多種多様な会員構成により
異分野・異業種間の相互交流が可能であり、
原子力産業界の代表として、多様な意見を踏まえた
先見性のある多様な活動を行います。

国際性 長年にわたり培ってきた
海外関係者・機関からの高い認知と信頼のもと、
グローバルな視点に立った国際協力活動を行います。

この日本原子力産業協会の会長である今井敬氏の
「2018年原子力新年の集い」における挨拶から、
原発を進めたい人たちが何を考えているのか？
ちょっとだけ見ておきましょう。

参考資料

①原子力産業協会HP「経営理念」

<http://www.jaif.or.jp/about/philosophy/>

②原子力産業協会HP「日本原子力産業協会「2018年原子力新年の集い」今井会長挨拶」

<http://www.jaif.or.jp/chairmans-new-year-message2018/>

非常に高度な専門性を要する原子力発電の分野において、
またしても**国の決定が、裁判所の判断によって覆されるということ**
が起こりましたが、このようなことで本当に良いのでしょうか。

日本はパリ協定において、温暖化ガス排出量の中期削減目標を
2030年までに2013年度比で、つまり17年間で26%削減すると
宣言した訳でございますが、併せて長期的目標として2050年まで
に80%削減すると宣言したわけでございます。

(中略)

**原子力発電所の再稼働・運転期間延長のみならず、
新增設の検討を進めなければ、
2050年にマイナス80%の目標は達成出来ません。その結果、
日本が国際社会からの信頼を失いかねないわけでございます。**

昨今の世界情勢に鑑みますと、**エネルギー安全保障の観点からも、
原子力発電所の必要性は増している**と思います。
ご承知の通り、日本のエネルギー自給率は、**わずか8%に過ぎませ
ん。太陽光発電や風力発電には時間的な制約がございますので、こ
れら発電方式がベースロード電源とはなり得ない、
そういう中で、日本は、国民生活の安定のためにも、
原子力発電の比率を高め、国の安全保障に繋がるエネルギー自給率
の向上を図る必要がある**と思います。

**原子力発電の必要性が、国民の中で根付くように、
私共は業界一丸となって、
さまざまな場所で理解活動を進めていかなければなりません。**

最後に一言

この人は「原発は安い」ということは言いませんでした。
温暖化対策とエネルギー安全保障、そのために原発は必要。そんな話です。

裁判所が運転差し止めの仮処分を出している件については

「非常に高度な専門性を要する原子力発電の分野」に素人の裁判官が口出すな、
とっておいて、

「原子力発電の必要性が、国民の中で根付くように理解活動を進めて」いく。。

要するに

国が必要って言うてるんだから、素人の国民は黙って言うこと聞け、

って言いたいんですね、きっと。

もう福島事故はきれいに片付いて、原因もはっきりしたかのような言いつりですが、
まだ日本は「原子力緊急事態」中であることを忘れちゃいけません。